

「交通対策・都市基盤整備合同部会」開催

10月9日（金）奈良商工会議所3階302号室において本年度の第1回目の交通対策部会と都市基盤整備部会は合同で開かれ、両部会員の出席のもと奈良市委員より報告を受け意見交換が行われました。その概要は次のとおりです。

1) 奈良公園交通社会実験について

報告：

- ・ 本年も県では、10月31日（土）・11月1日（日）・3日（祝）の3日間交通社会実験を実施。市内3ヶ所のパーク&バスライド駐車場と無料シャトルバス運行ルートなどについての説明。

また奈良公園（県庁前）前から東大寺、二月堂、若草山麓、春日大社、浮見堂、出発点の奈良公園前へと回る無料周遊バス運行についての説明。

- ・ 第2阪奈道路の中町ランプ南側に、平城遷都1300年祭に向け、県がパーク&バスライド駐車場を計画中であり市としても協力していく。

意見：

- ・ 東大寺、奈良公園周辺、猿沢池からならまちの方へのルートが良いと思う。しかし猿沢池まではバスも入れるが問題は鶴福商店街を抜けるのに無理があるのでは。

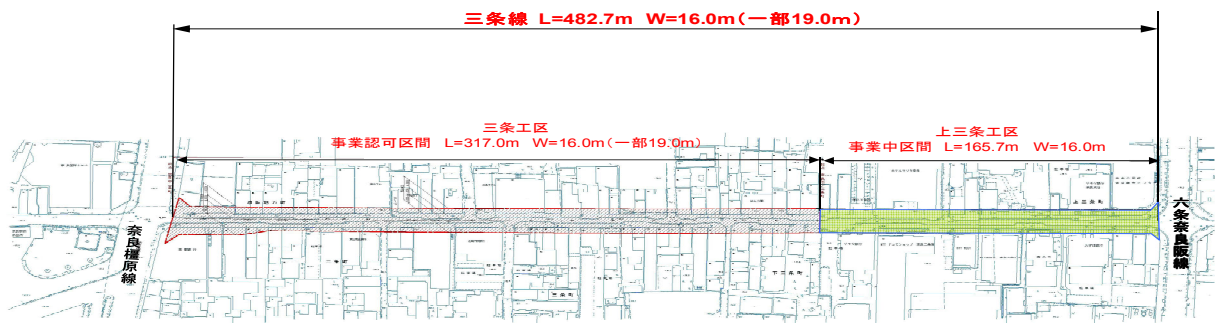
- ・ 名古屋方面から奈良へ来られる観光客の多くは、天理インターから天理街道を北上して奈良へ入って来られ渋滞が発生している。来年は平城遷都1300年祭が開催されるが、天理市内でパーク&バスライド駐車場を設け、そこからシャトルバス運行にて奈良へのルートなど県に対して促してはどうか。
- ・ イオン大和郡山店が来年春にオープンするが、国道24号線バイパスの渋滞が予測される。これについても南から北上して奈良へ向かって来る車を一端天理市内にパーク&バスライド駐車場を設けシャトルバス運行の検討を。今回の社会実験もそのあたりも想定し実施しないとイケない。

2) 三条通拡幅計画の概要について

報告：

- ・ 全延長約480mで、やすらぎの道からホテルフジタを超えた約165mが上三条工区、その西側から

都市計画道路「三条線」の事業概要



| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 三条線 三条工区 [延長 L=317m W=16m(一部19m)] 当初計画決定 昭和8年5月19日 都市計画変更 平成19年3月14日 事業認可日 平成19年4月6日 ・ 施工場所 奈良市三条町～下三条町地内（奈良権原線から317m間） ・ 工事概要（三条工区） 三条線街路改良工事 L=317m W=16m(一部19m) 自歩道 6m 車道1車線 |
|--|

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 三条線 上三条工区 [延長 L=165.7m W=16m] 当初計画決定 昭和8年5月19日 都市計画変更 平成19年3月14日 事業認可日 平成9年3月28日 ・ 施工場所 奈良市上三条町～下三条町地内 ・ 工事概要（上三条工区） 三条線街路改良工事 L=165.7m W=16m 自歩道 6m 車道1車線 |
|---|

JR奈良駅まで 317mが三条工区に分けて事業が進められている。概ね7割の用地買収を終えている。

今年度内に上三条工区については、最終形を目指して整備にかかる。一部未買収の部分もあるが本年度中に工事に着手する。また、三条工区についても旧ダイエー前から約 120m 区間の暫定的な整備に入る。しかし三条工区は来年4月から本格的に平城遷都 1300 年祭が始まることから、観光客等の迷惑になってはと4月から 11 月頃までは基本的に工事は行わない。来年度後半から旧ダイエー前周辺も本格的整備にかかり 1300 年祭終了後も重点路線である為、出来るだけ早く全面開通に向け取り組む。

意見：

- ・ 不法駐輪が後を絶たないが旭水公園を駐輪場に整備してはという意見が出た。またよく見かける駐輪禁止のカラーコーンは美観をそこね観光都市奈良として恥かしい。
- ・ 駐輪場整備に関しては、奈良市が新たに駐輪場整備をおこなう公共交通機関に対して補助金を出すとのことだが、公共交通機関と限定するのはどうか。

3) JR奈良駅前整備計画の概要について

報告：

- ・ 桜井線鉄道高架工事は来年春に完成し、奈良駅の全てが高架運行される予定。

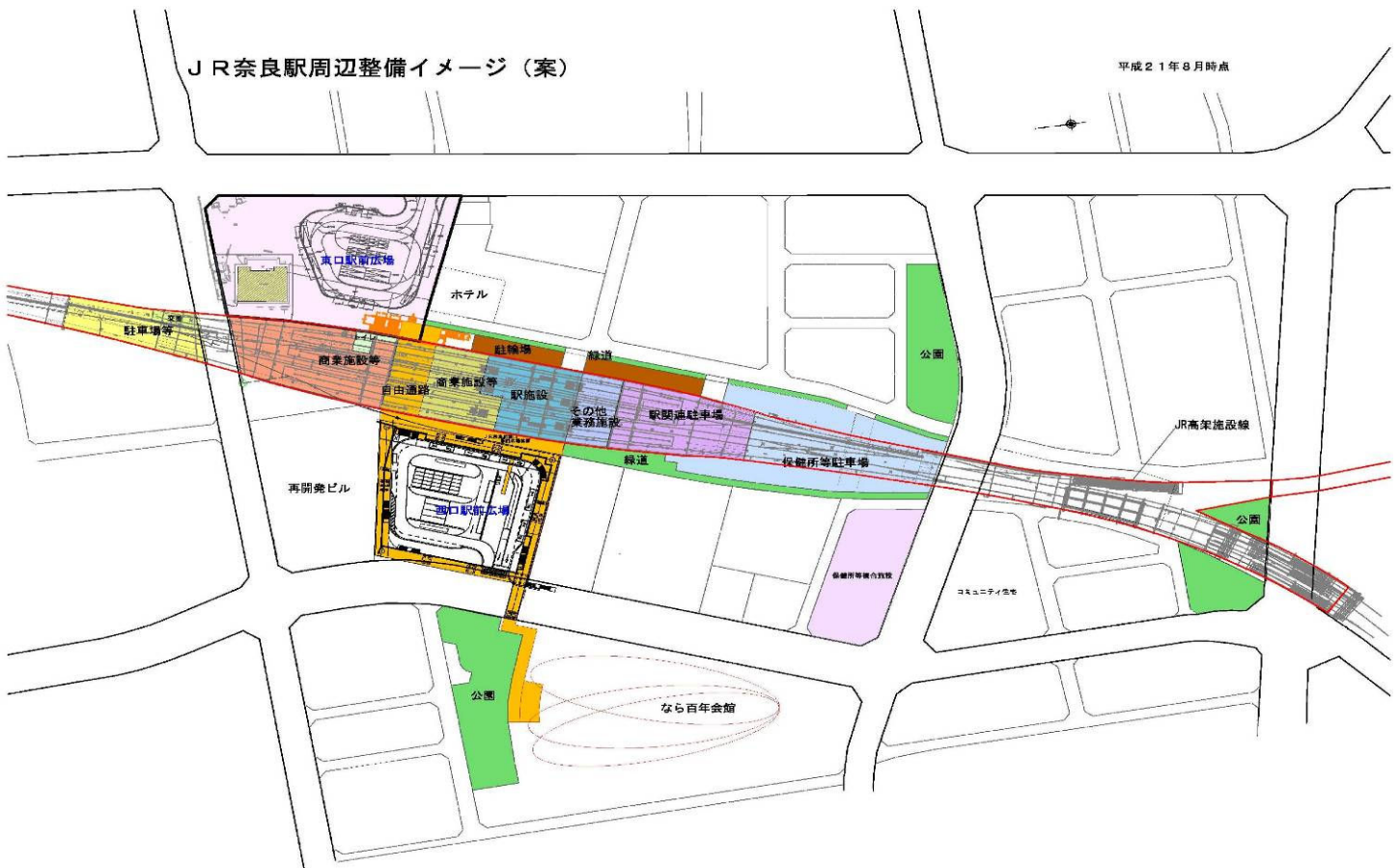
- ・ 東駅前広場の整備は、仮駅舎の撤去、トイレ・交番の整備が終わらないと着工できない。

しかし 1300 年祭が開催時においても、必要な部分の工事は行わざるを得ない状況。

- ・ 駅舎の中を東西に結ぶ自由通路が1階と2階にあり2階から東側へ出て北側に降りる階段、南側へ降りる階段と駅をつなぐ部分の工事は来年9月の完成を目指して現在 JR との話合いを行っている。
- ・ 駅前ビルのスーパーホテル側も、前にデッキが来ることを前提に設計されており駅前広場の中ではなく、駅前広場を外れた所でホテルへの2階進入路、動線の確保を今後検討。
- ・ 三条通北側駅の高架下の駐車場とあるのは、駅中商業施設のための付帯施設となっている。
- ・ 東口駅前広場へのバス導入路線については、一部の路線について、今後、西側駅前広場へ移行することを検討。
- ・ 東口駅前広場はバス・タクシー専用ではなく一般車も入れる。

意見：

- ・ 駅中商業施設についての情報が不透明、JR との協議結果を近隣商業者にも流していただきたい。



「第3回近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会」が 神戸・新長田において開催

10月16日（金）午後1時30分より「第3回近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会」が神戸市新長田のアスタくにつか4番館2階多目的スタジオにおいて開催されました。

近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構近畿支部、今回も西は兵庫県姫路市、北は滋賀県長浜市、南は和歌山県田辺市など各方面から40名が参加して行われました。

冒頭、同研究会の開催に際し地元を代表して神戸・新長田中心市街地活性化協議会・上田会長より歓迎の挨拶が述べられました。

続いて、ネットワーク研究会の会長・相談役・副会長選出・就任について事務局である中小企業基盤整備機構近畿支部より選任役員の報告と紹介が行われ、会長には榊神戸ながたTMOの東朋治総括マネージャー、副会長には当協議会事務局長の木野本氏と伊丹市都市創造部都市企画室主幹の綾野氏、(株)まちづくり田辺の尾崎氏の3名がそれぞれ就任し、会長の東氏より挨拶が行われました。

引き続き東氏より「新長田の取組み」と「視察のポイント」について、DVDを見せて頂き説明を受けました。

その後、「KOBE 鉄人 PROJECT」の取組みについてNPO法人KOBE 鉄人 PROJECTの正岡理事長より鉄人28号の巨大モニュメント誕生までのお話と昨年7月に認定を受けられた神戸市（新長田地区）中心市街地活性化基本計画の目標などを聞かせて頂きました。

鉄人28号が神戸市出身の漫画家・横山光輝先生によって描かれてから50年後の2006年にプロジェクトをスタートし足掛け4年と少しで竣工に至ったとの



こと。また、缶入り鉄人カレーや鉄人サブレなどの鉄人関連商品も販売されていました。ちなみに鉄人28号の制作費は1億3,500万円で一切国の支援は受けず、竣工式には約3万人もの人が来街されたとのことです。

また、横山先生の代表作「三国志」は幅広い年齢層の人達に親しまれ、(財)阪神・淡路大震災復興基金の「まちのにぎわいづくり一括助成事業」補助金による「関羽」や「周瑜」などの石像が来街者を迎えています。

地域の資源を活かして、いかに街の賑わいに結び付けて行くか、また来街者の方々をいかに神戸・新長田地区の商店街を中心に回遊していただくかと考え、また六間道商店街の理事長ほか店主もイベントではコスプレ衣装を着て「なりきり隊」を結成。こういったエネルギーが街を変えて行くと言ったお話を聞かせていただきました。

続いて二班に分かれ、一班は駅南の新長田一番街商店街、鉄人28号のモニュメント、駅北側のシューズプラザ、駅南側に戻って本町筋商店街、丸五市場、六間道商店街を経由して大正筋商店街内にある本日の会場へと戻って参りました。もう一班は、逆回をしました。

その後、ワークショップに入り、テーマは「訪れたい街・集客力向上に向けて」と「住みよい街・住みたくなる街に向けて」のふたつのどちらかを参加者が選択。それぞれの街の課題をあげ、それについて各班ごとに活発な意見交換が行われました。

次回は、伊丹市において年明け1月下旬または2月上旬での開催予定です。

もちいどの夢CUBE 2期生募集

奈良もちいどのセンター街協同組合では、活性化と活力化を目的とした新規創業者を育てるインキュベータ施設「夢CUBE」での2期生を募集されています。募集店舗数は8店舗（内3店舗飲食可）、募集期間は12月25日まで必着。応募資格は原則として過去に小売業・サービス業にかかる店舗経営経験のない個人・グループ・法人（中小企業者に限る）。

申し込み用紙は、HPのトップの応募からプリントしていただくか、事務局まで取りにお越しください。



（注意：FAX並びに郵送は、おこないません）
詳しくは、プリントしてご確認ください。

はじまりは正倉院展「あるくん奈良スタンプラリー」開催

はじまりは正倉院展実行委員会主催で10月17日（土）から11月12日（木）まで本年度で第4回目となる、はじまりは正倉院展「あるくん奈良スタンプラリー」を開催されています。

スタンプラリーコースは①奈良だってかわいいもん！「かわいいモノに出逢う旅」、②文明開化の音がする「明治の風情を訪ねて」、③ならまちの寺社を巡って「神さま・仏さまにお願い」、④板・文字・彫りのコラボを楽しむ「看板と額みて歩き」の四つのコースが設けられています。

スタンプは、コース途中にある7ヶ所のスタンプポイントか、店頭で冊子が目印として置いてある店舗・宿泊施設で、買物・飲食・宿泊すると集められます。

集めたスタンプ3つなら1回、6つなら2回、9つなら3回抽選または応募ができます。

景品としてもれなく「ポストカード」を進呈。また更に抽選で「正倉院文様オリジナル風呂敷」・「奈良市内ペア宿泊券」が当たります。

ゴールの近鉄奈良駅ビル東側行基噴水広場と旧JR奈良駅舎前が土・日・祝日のみ抽選により、その場で景品進呈。

また平日は、両駅観光案内所と奈良市観光センターで応募して頂け、景品の当選発表はスタンプラリー期間終了後、発送をもってかえさせていただきます。

他に「まちかど正倉院」と題して、奈良のまちに眠るお宝や正倉院展にまつわるグッズを期間限定で公開。

また江戸時代から明治にかけての町屋の面影を「ならまち」で夜のひと時を過ごしていただく催し物として10月24日から11月8日まで伝統芸能の鑑賞や工芸体験など「ならまちナイトカルチャー」が日替わりで開催されました。



お問い合わせは

- ・ひがしむき商店街事務所
TEL0742-24-4986 <http://higashimuki.jp/>
- ・もちいどのセンター街事務所
TEL0742-22-2164
<http://www1.kcn.ne.jp/~mochiido/>